

庄内教育事務所社会教育情報

Showタイムズ

令和7年度 10月号②

庄内教育事務所 社会教育課

お問い合わせ先 TEL:0235-68-1983

FAX:0235-66-3015

「地域と学校をつなぐ」スキルアップ交流会<8月29日(金)>

庄内の「地域学校協働活動」の充実に向けて

新庄市の統括的な地域学校協働活動推進員の高山恵美子（たかやま えみこ）さんと地域学校協働活動推進員の栗田夏枝（くりた なつえ）さんをお招きして、研修会を開催しました。前半は、新庄市の地域学校協働活動について事例を紹介していただきました。「地域と学校をつなぐ」とはどういうことなのか、事例を交えながら具体的にお話いただきました。後半は、グループに分かれてワークショップを行いました。事例



発表から学んだことを共有して学びを深めたり、日頃活動するうえで感じていることや悩みについて情報交換したりしました。高山さんや栗田さんの地域や子どもたちへの熱い思いを感じ、参加者にとって今後の活動の原動力となる研修会となりました。ここでの学びを、それぞれの立場で、子どもたちの充実した活動につなげていただけることを願っています。これからも庄内地区の地域学校協働活動がどんどん充実していくよう、各市町への情報提供等を続け、サポートしていきます。（担当：齋藤）

放課後子ども指導者研修会②<9月30日(火)>

上手な叱り方を身につけよう！アンガーマネジメント

「アンガーマネジメントで学ぶ 思いが伝わる上手な叱り方」と題して、標記研修会を開催し、放課後児童クラブを中心に120名の皆さんから参加していただきました。講師の須藤好子（すとう よしこ）氏は、山形県家庭教育アドバイザー・一般社団法人日本アンガーマネジメント協会認定アンガーマネジメントチーフファシリテーターとして、



教育現場だけにとどまらず、企業・団体における研修会や講演会で講師を務めています。ワークショップをしながら、上手な叱り方とは何か、叱り方のトレーニングについて学び、実践に活かす事ができる研修会

でした。参加者からは、「短い時間でしたが、アンガーマネジメントについて学ぶことができました。叱るのにも練習が必要ということで、さっそく今日から実践していきたいと思います」「叱ることへの抵抗が自分にあった事に気づけました。叱ることの大切さを学べ、チャレンジしていこうと意欲が湧いてきました。叱る境界線が、後悔するかしないかと明確になったことで、自分の中で叱る事へのハードルが下がり、向き合い方が見えました」「怒るときに、こうある『べき』という考えがきっかけになっていることを学びました。自分の価値観だけを押しつけるのではなく、相手の考えにも耳を傾けたいです。大人の常識が子どもの当たり前ではないという気持ちを持ちたいと思いました」等の感想が寄せられました。（担当：藤田）



アクティブチャイルドプログラム都道府県普及促進研修会<9月6日(土)>

子どもたちが“楽しみながら”“積極的に”体を動かすために

三川町子育て交流施設テオトルでスポーツ少年団関係者などを対象に、指導者のスキルアップを主な目的とする標記研修会を開催しました。山形県スポーツ少年団指導育成委員の石川武利氏（庄内町）から理論編・実技編両方の講師を務めていただきました。31人の参加者が幼少期に体を動かすことの重要性を学び、下記の運動あそび等を体験しました。

- ① ボールあそび：新聞紙でボールを作り、相手陣地に投げ合いました。
- ② ロープあそび：長縄を使って、出たり入ったり、みんなで跳んだりしました。
- ③ 運動遊び：3つの遊びをしました。

☆「言うこと一緒、やること一緒」では講師の指示どおりに動くことができるか挑戦しました。特に「言うこと一緒、やること逆」や「言うこと逆、やること一緒」が難しかったようです。

☆「大根抜き」ではグループで手を組んで、抜かれないように耐えたり、協力して抜いたりするチームワークが見られました。

☆「人間知恵の輪」では意見を出し合いながらくぐったりまたいだりしてほどくのが難しかったようです。



理論編の講義



新聞紙を使ったボールあそび



大根抜き



人間知恵の輪

参加者が笑顔で楽しむ様子があり、子どもたちがやってもきっと同じような笑顔が見られる気がしました。今後もアクティブチャイルドプログラム普及のため、講師の拡充や研修会の充実に取り組みます。（担当：志田）



庄内教育事務所 社会教育課
【公式】Instagram
各種研修会、事業等の情報をお届けします！



庄内地区社会教育情報
ホームページはこちら！➡

